

スポーツ庁 平成30年度「大学横断的かつ競技
横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業」
に関する成果報告書(関西大学)



関西大学

スポーツ庁 平成30年度「大学横断的かつ競技横断的統括組織

(日本版NCAA)創設事業」に関する成果報告書(関西大学)

<目次>

1	スポーツ分野の統括業務の実施、スポーツ・アドミニストレーターの配置	1
(1)	スポーツ統括業務の実施	1
(2)	大学スポーツ・アドミニストレーターの配置の状況について	1
2	KSAPの各事業	4
(1)	KSAP1【キャリア形成支援】	4
①	KSAPポリシーの策定<進行中>	4
②	学生アスリート向け研修プログラムの実施	4
③	小・中学校クラブ活動支援事業及び関西大学カイザーズクラブが実施するスクール事業を通じた指導者としての実践的な学びの提供	5
④	女性アスリートのキャリア支援	6
⑤	コーチング知識修得のための海外派遣[ニュージーランド]	6
(2)	KSAP2【修学支援】	7
①	Portfolio の開発	7
②	フォローアップ体制の充実	7
③	ピア・サポート制度の活用	9
(3)	KSAP3【意欲向上支援】	10
①	KSAPサーティフィケート制度の原案策定	10
②	KSAP褒賞制度の原案策定	12
③	指導者育成プログラムの構築、公的指導資格取得プログラムの実施	12
別紙①	KSAP 全体像のロードマップ	17
別紙②	「KAISERS Talk」案内ポスター	18

1 スポーツ分野の統括業務の実施、スポーツ・アドミニストレーターの配置

(1) スポーツ統括業務の実施

〔実施済〕

本学では、これまで「体育の奨励及びスポーツ活動支援」を目的として保健体育主事を置いていたが、「大学のスポーツ振興」を活性化するため、現行の保健体育主事制度を改め、「スポーツ振興主事制度」を創設すべく諸規程の制定等に取り組んだ。その結果、学内諸手続きを経て、2019年4月1日付をもって、学長・担当副学長によるガバナンス体制のもと、学生センターに「スポーツ振興主事」を設置することが承認された。（学内全体の役職任期の関係から、2019年4月1日付で設置することにしている。）

今後、スポーツ振興主事制度は、全学の協力のもとで、①学生の健康増進、②学生のスポーツ課外活動に関する支援、③スポーツを通じた社会貢献、④スポーツを通じた大学ブランド力の向上等、スポーツを取り巻く様々な課題を検討する組織として機能するものである。

また、過年度には法人が主体となり、常任理事会のもとに「大学・併設校スポーツ支援専門部会」を設置し、オリンピック競技等世界で活躍するトップアスリートへの経済的支援を図り、本事業の相関的な役割を果たしている。

〔継続〕

上記のとおり、2019年4月1日付でスポーツ振興主事制度が設置されることに伴い、今年度中は、現行の保健体育主事のもとで、①スポーツ憲章（案）の作成、②スポーツ統括部局及び事務組織体制の整備に向けた諸規程（案）の作成、③その他の諸課題に鋭意取り組んでいる。

さらに2019年4月からは、スポーツ振興主事会において上記の原案を踏まえ、全学の英知を集約し、学内諸手続きを経て、2019年10月1日を目途に新たなスポーツ統括部局及び事務組織を構築する予定である。

(2) 大学スポーツ・アドミニストレーターの配置の状況について<設置済み>

〔求めた資質・能力等〕

スポーツ・アドミニストレーター（以下、「SA」という。）については、実施計画に記載した役割（下記に記載）を担うべく、SAの役割を理解して、学生アスリートの活動に関してはスポーツライターでもありスポーツビジネス、マネジメント研究を行ってきた人材、修学支援に関しては産業カウンセラー、キャリアコンサルタントの資格を有し豊富な実績を持つ人材を、本学の事業を推進する能力を有する者と判断し、公募によって2名を採用した。なお、実施計画策定段階では、週5

日勤務可能なSAを2名雇用する予定であったが、公募の結果上記2名は、本業との関係から週5日の勤務が困難であり、2名の勤務条件を合算して、週5日勤務のSA1名分に相当させている。

そのため、不足するSA1名分の業務は、これまで本学が行ってきたキャリア形成支援、修学支援施策を基本に本事業を実施する必要性があることから、スポーツ振興グループにおける専任事務職員4名が分担して遂行することとした。

〔役割・具体的な業務〕

SAの役割及び具体的な業務は、以下のとおりである。

SA	役割	具体的な業務
岡田 哲也	<ul style="list-style-type: none"> ・KSAP(KAISERS Student -Athlete Program)の開発 ・Portfolioの構築 ・PortfolioによるKSAPの検証等 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">KSAP 1</div> <ul style="list-style-type: none"> ①KSAPポリシーの策定 ②学生アスリート向け研修プログラムの開発 ③小・中学校クラブ活動を通じた指導者としての実践的学びの提供 ④女性アスリート向けキャリア形成支援プログラムの検討 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">KSAP 2</div> <ul style="list-style-type: none"> ①Portfolioの開発 ②フォローアップ体制の充実 ③ピア・サポート制度の活用
永富 慎也	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスモデルの開発 ・地域社会やビジネス分野との連携 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">KSAP 3</div> <ul style="list-style-type: none"> ①KSAPサーティフィケート制度の充実 ②KSAP褒賞制度の原案策定 ③指導者育成、公的指導資格取得プログラムの原案策定

〔K S A P全体像のロードマップ〕 (P.17 別紙①)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
組織検討	<ul style="list-style-type: none"> ◆学連はなまきスポーツ推進本部 スポーツ推進本部規程 	<ul style="list-style-type: none"> あわせて学生センター規程の改定 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ局としての検討(学生センター規程との関係などの整理) 				<ul style="list-style-type: none"> 次年度への設置
修学支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆Fogelの調査 ◆ピアサポートの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◆フォローアップ検討 					<ul style="list-style-type: none"> ◆次年度に開催整備
キャリア形成支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆学生アスリート向け研修プログラム 						<ul style="list-style-type: none"> 次年度へ定例化する事業
意欲向上支援	<ul style="list-style-type: none"> ◆研修会企画プログラム計画策定 ◆キャリア支援プログラム ◆キャリア支援プログラム 						<ul style="list-style-type: none"> ◆次年度に開催整備

2 KSAPの各事業

(1) **KSAP1**【キャリア形成支援】

① KSAPポリシーの策定<進行中>

学生アスリートが、“関西大学KAISERS”の一員として、学問とスポーツ活動を両立させるとともに、関大生のフロントランナーであるという自覚の下、社会への貢献を果たし、学生スポーツ文化の発展に寄与することを目的とした基本理念及び規範を定めた憲章（ポリシー）の原案を作成した。今後、2019年4月に設置するスポーツ振興主事会において原案を検討の後、全学の承認を得る予定である。

このポリシーを通じて広く学生に浸透させることを目的として、①現在の1年次が入学式前日にその心構えを自覚し、大学生としてまたアスリートとしての一人であることを認識させるため、各学部の協力で実施する入学前オリエンテーション、②夏季休暇期間中に新入生同士が宿泊研修を通じて、クラブ単位だけではなく、より大きな集団生活におけるルールを実体験するフレッシュャーズキャンプ等を実施する。

② 学生アスリート向け研修プログラムの実施<一部実施済み>

入学前	スポーツ入試入学生対象入学前オリエンテーション	講義による知識・スキル習得、グループワークによるコミュニティ形成	3月実施済
1年次	法令遵守（コンプライアンス）	未成年飲酒や喫煙、通学マナーなどを学ぶ	5月実施済
1年次	大学スポーツの意義と4年間の過ごし方	勉強とスポーツの両立などを学ぶ	6月実施済
1年次	フレッシュャーズキャンプ	体育会のメンバーの自覚を持たせる	8月実施済
2年次	2年次のためのスポーツとキャリアデザイン	2年目によるモチベーションの低下防止を学ぶ	6月実施済
3年次	企業人事担当者による就職活動アドバイス	人事担当者からのアドバイスを聞く	12月実施済
3年次	体育会OB・OG（4年次）による就職活動アドバイス	学生と社会人との目線の違いを学ぶ	1月実施済
3年次	ESアドバイス&模擬面接	エントリーシートの記入、面接の実践を学ぶ	2月実施済
3・4年	リーダーズキャンプ	リーダーを養成する	12月実施済
全員	アスレティックトレーナー・ストレングス&コンディショニングジムオリエンテーション	ATルーム・パワージム等の効果的な使用法を学ぶ	5月実施済
全員	応急処置講習会	応急処置を学ぶ	6月実施済
全員	緊急時連絡講習会	けが人への対応を学ぶ	①6月実施済 ②3月実施済
全員	熱中症講習会	熱中症発症時の対応を学ぶ	7月実施済
全員	栄養講習会・パワージム講習会	栄養管理・パワージムについて学ぶ	9月実施済
全員	赤十字水上安全法救助員養成講習	①水難救助、②AEDの使用方法を学ぶ	①9月実施済 ②12月実施済

- ③ 小・中学校クラブ活動支援事業及び関西大学カイザーズクラブが実施するスクール事業を通じた指導者としての実践的な学びの提供<12月、1月、随時>

ア 小・中学校クラブ活動支援事業

実施日	参加対象	受入人数	協力団体
2018年 12月2日 (日)	吹田第一中学校区 (小・中学生対象)	午前 206名 午後 175名 計 381名	体育会 13クラブ 文化会 2クラブ 応援団
2019年 1月27日 (日)	豊津中学校区 (小・中学生対象)	午前 268名 午後 257名 計 525名	体育会 12クラブ 応援団

イ 「特定非営利活動法人関西大学カイザーズ総合型地域スポーツ・文化クラブ」
(関西大学カイザーズクラブ) スクール事業

アイスホッケー、サッカー、器械体操及びチアダンスの各スクール事業において、学生アスリートが子どもに対する指導を行っている。

また、12月9日(日)に開催した関西大学カイザーズクラブとNPO法人ママふぁん関西の共催による「まちFUNまつり」の企画として、バスケットボールをはじめとする7つの競技種目で構成される「スポーツスクール体験」を実施した。

上記のすべてにおいて、学生アスリートが参画し、スポーツを通じて、技術及びメンタルの両面から指導している。これら事業を踏まえ、学生アスリートが「教える」ことの難しさ及び自分自身の理解度を知る貴重な経験を踏まえ、将来の指導者又は教員への進路を考える機会を提供している。



④女性アスリートのキャリア支援（2～3月）

1月31日（月）に、本学と連携協定を締結した美津濃株式会社（ミズノ）の協力を得て、スポーツ業界又はその周辺の業界で活躍している女性（本学体育会出身）の経験談を紹介いただいた。

海外比率 30%である同社は、現在の日本企業全体の海外比率 30%程度とほぼ同じで、これから社会で活躍する学生アスリートにとって最適な教科書となったと考えられる。また、同社の業界におけるポジションやメーカーとしての BtoC ビジネスから BtoB ビジネスまでの商品開発・マスメディアとのタイアップ広報の経験談、近時の AI を活用したサブスクリプションやプロジェクトファイナンスなどの会社としての取り組みなど多岐にわたる紹介を通し、社会人としての心構えの礎となったものと思われる。当日は、女子学生だけではなく、男子学生も参加し、研修終了後も質疑応答で真剣な会話が続いた。



⑤コーチング知識修得のための海外派遣[ニュージーランド]（参加者不足による未実施）

当初の予定どおり、ニュージーランドへの海外派遣を8月に実施するべく公募したが、参加申込者が催行人数に達しなかったため、実施を見送った。

今後は、潜在的な希望者に対する広報活動を強化し、プログラムを継続していく予定である。

(2) **K S A P 2**【修学支援】

① Portfolioの開発<継続検討中>

教育推進部の協力を得て、K S A Pプログラムの実践に伴う「人間形成力」と日常の「競技力向上」の2つの領域での結果を管理する。具体的には教務管理システムとして運用している「関大LMS (Learning Management System)」に個人ごとの修学及び競技に関するデータを蓄積し、分析する仕組みを構築するべく取り組んでいる。今年度は検討を進め、来年度から実行着手する予定である。

② フォローアップ体制の充実<実施済み>

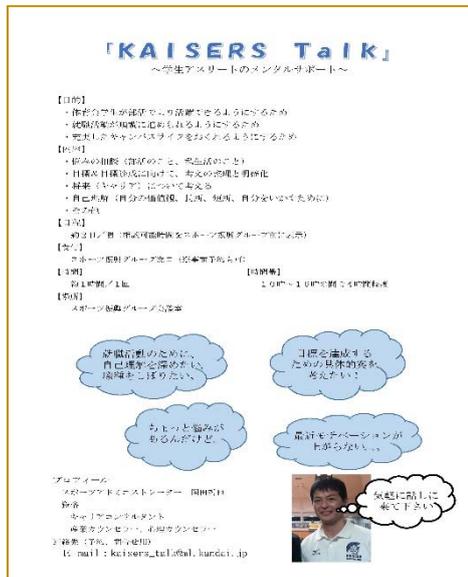
11月中に各学部の学生主任(教員)及びスポーツ振興グループ(職員)が協力して、成績(学業)が芳しくない学生アスリートの面接を実施し、日常の練習、大会出場と学習が両立できるようにアドバイスした。

特に、外国語科目及び学部における必修科目の履修に注意して、計画的な単位取得を心がける助言したほか、将来の進路等も聞き取りを行い、適宜準備するよう促した。

今後は、スポーツ振興主事会において、①競技に出場するための最低習得基準単位の設定及びそれに基づく活動の制限、②各クラブに修学支援に対する面談、指導記録の作成を担当する副顧問(事務職員)の配置等の検討に着手しているところである。

S Aが学生アスリート対象者に対して、日常的に対応する「KAISERS Talk」を開設した。これは、S Aが競技上の悩み、修学上の悩み及びこれからのキャリアビジョンを描く上での悩みに対し、答えを導き出す目的で、1回あたり1時間まで(予約制)という条件で開設した。学内的な相談窓口がすでに学生相談・支援センター、学生相談室、キャリアセンターなどとの重複する部分を除く相談に限定して実施している。それぞれの悩みの壁を乗り越え、克服するためのアドバイスを行い、自己実現する考え方を自らで考える端緒となっている。

これらのフォロー体制を礎として、スポーツ及び学修における大学生活を豊かにするための一助となるように取り組んでいる。



「KAISERS Talk」案内ポスター
(P.18 別紙②)

[2019年1月～3月までのクラブ別実績]

クラブ名	件数
ラグビー部	2件
バレーボール部	5件
ATルーム学生スタッフ	3件
関大スポーツ編集局	1件

[2019年1月～3月までの実績]

内容	件数
就職活動の相談	9件
メンタル面での相談	2件

③ ピア・サポート制度の活用<一部モデルを拡大実施中>

学生同士の学び合い自体が本学のディプロマポリシーを達成するため、SAのアドバイスによって年齢が近いピア・サポーター（学生）による修学面やメンタル面の支援を実施した。

【サッカー部のモデル事業を拡大化する作業について】

250名程度を擁するサッカー部では、過年度から学期末試験・学年末試験に向けて、学生同士の自主勉強会活動を続けている。今年度は、当該活動をモデルケースとして、体育会全体へコミュニティの輪を広げることを進めた。

今回は、サッカー部の取り組みを先進モデルとして、体育会の成績が芳しくない学生が皆無に近い環境を整備し、充実した大学生活となるように取り組んだ。

その結果、スポーツ振興グループ及びスポーツ・アドミニストレーターが、教える立場、教わる立場の組み合わせをマッチングのサポートを行ったが、スムーズに実施できた。

<参考>スポーツアスリートの文武両道を目指すことで本学が掲載された新聞記事

- ・2018年11月27日 朝日新聞夕刊 11面（大阪）
「文武両道、大学の本気 関西大・試験前、運動部員の勉強会 早稲田大・単位不足なら部活動制限」
- ・2018年11月27日 読売新聞夕刊 1面（大阪）
「大学運動部 学業も重視 単位数で試合出場可否 勉強会など両立支援」
- ・2019年2月8日 産経新聞夕刊 6面（大阪）
「勉強会で単位取得支援 関大“文武両道”取り組み」

(3) **K S A P 3** 【意欲向上支援】

① **K S A P**サーティフィケート制度の原案策定<3月まで>

本学独自のプログラムである**K S A P**で得た知識・経験を一過性の体験に終わらせず、学生アスリートが胸を張ってやり遂げたという成功体験を認識し、生涯の成果として可視化するために、一定の基準を作成中である。

【関連事項】各クラブの目標大会の設定<モデル実施済み>

<陸上部（駅伝）の事例>

2018年10月に、陸上部（女子）が「第36回全日本大学女子駅伝対校選手権大会」（仙台市）に出場した。これを機会として、スポーツ振興グループでは、各クラブが目標とする大会の調査を行った。

クラブ名	大会名	時期
アーチェリー部	全日本学生アーチェリー王座決定戦	6月中旬～7月初旬
アイススケート部	日本学生氷上競技選手権大会フィギュア競技	1月上旬
アイスホッケー部	日本学生氷上競技選手権大会	12月下旬
アメリカンフットボール部	甲子園ボウル	12月下旬
空手道部	全日本大学空手道選手権大会	11月中旬
器械体操部	全日本学生体操競技選手権大会	8月中旬
弓道部	全日本学生弓道選手権大会	7月下旬
	全日本学生弓道王座決定戦	11月下旬
剣道部	全日本学生剣道選手権大会	6月下旬～7月中旬
	(男子)全日本学生剣道優勝大会	10月下旬
	(女子)全日本女子学生剣道優勝大会	11月上旬～中旬
拳法部	全日本学生拳法選手権大会	11月下旬
ゴルフ部	関西学生春季男子2部校学校対抗戦&1部校学校対抗戦	4月中旬
	関西学生秋季男子2部校学校対抗戦&1部2部入替戦	9月下旬
サッカー部	総理大臣杯 全日本大学サッカートーナメント	9月初旬
	全日本大学サッカー選手権大会	12月中旬
自転車部	全日本大学対抗選手権自転車競技大会(レース班)	8月下旬(9月上旬)
	全日本学生選手権(サイクルサッカー班)	11月中旬
射撃部	全日本学生スポーツ射撃選手権大会	10月中旬
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	6月下旬
	全日本学生柔道体重別選手権大会	10月下旬

準硬式野球部	文部科学大臣杯 全日本大学準硬式野球選手権大会	8月中旬
水上競技部	日本学生選手権水泳競技大会	9月初旬
スキー競技部	全日本学生スキー選手権大会	2月中旬～下旬
漕艇部	全日本大学選手権大会	9月上旬
ソフトテニス部	全日本学生ソフトテニス選手権大会	8月上旬
ソフトボール部	全日本大学ソフトボール選手権大会	8月下旬～9月上旬
	(女子)全日本総合女子選手権大会	9月中旬
卓球部	全日本大学総合卓球選手権大会	7月中旬
テニス部	全日本大学対抗テニス王座決定試合	10月中旬
なぎなた部	全日本学生なぎなた選手権大会	8月初旬
馬術部	全日本学生馬術大会	11月第1週
バスケットボール部	(男子)全日本大学バスケットボール選手権大会	12月
	(女子)西日本学生バスケットボール選手権大会	6月下旬
バドミントン部	全日本学生バドミントン選手権大会	10月中旬
バレーボール部	秩父宮賜杯 全日本バレーボール大学選手権大会	11月下旬
ハンドボール部	全日本学生ハンドボール選手権大会	11月上旬
フェンシング部	関西学生リーグ戦	4月下旬～5月下旬
	関西学生フェンシング選手権大会	10月中旬
ボクシング部	関西学生リーグ戦	5月～6月
ホッケー部	全日本学生ホッケー選手権大会	10月下旬～11月上旬
野球部	全日本大学野球選手権大会	6月中旬
	明治神宮野球大会	11月中旬
ヨット部	全日本学生ヨット選手権大会	11月初旬
ラグビー部	全国ラグビーフットボール選手権大会	12月中旬
陸上競技部	関西学生陸上競技対校選手権大会	5月中旬
	日本学生陸上競技対校選手権大会	9月上旬
レスリング部	全日本選手権大会	12月下旬
応援団 バトン・チア	JAPAN CUP 日本選手権大会	8月下旬

② K S A P 褒賞制度の原案策定（3月まで）

本学では、優れた競技成績を有する個人及び団体に対して、競技成績及び学業成績を総合的に評価する褒賞制度として、「スポーツ振興奨学・奨励金」制度を構築している。

また、本学出身のオリンピックメダリストである大島鎌吉氏の遺徳を継承して実施している「体育振興大島鎌吉スポーツ文化賞」では、全日本大会優勝又は世界大会において3位までに入賞した団体個人に対して表彰し、これに準じる成績を有する団体又は個人に対しては、覇業披露式を通じてその成果を表彰している。

なお、両表彰制度ともに、運用面における課題があるため、今後課題解決に向けた制度改正に取り組むべく検討を進めている。

③ 指導者育成プログラムの構築、公的指導資格取得プログラムの実施（3月）

現在、人間健康学部に在籍する学生アスリートの教職免許、体育協会指導者ライセンス、レクリエーション・インストラクター及び日本赤十字の救急救命関連などの資格取得者の人数及びその推移は次の図1～6のとおりである。（人間健康学部の完成年度が2013年度となるため、2013年度以降のデータを掲載している。また、今年度の数値が入っていないものは、現時点では結果が出ていないものである。同学部では、中学校・高等学校教諭一種免許状（保健体育）、高等学校教諭一種免許状（福祉）が取得可能。）

図1 [教職免許取得者]

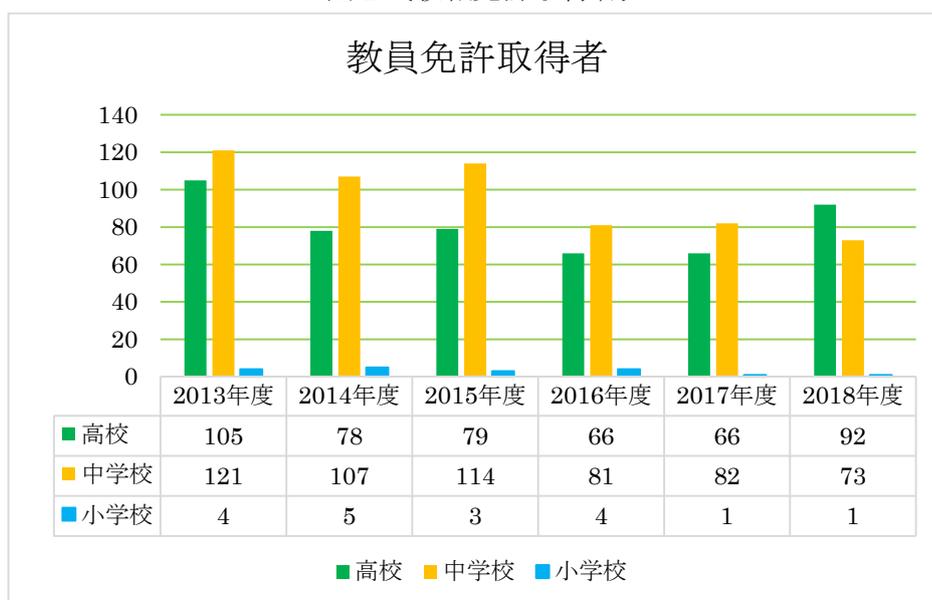


図2〔健康運動実践指導者資格〕

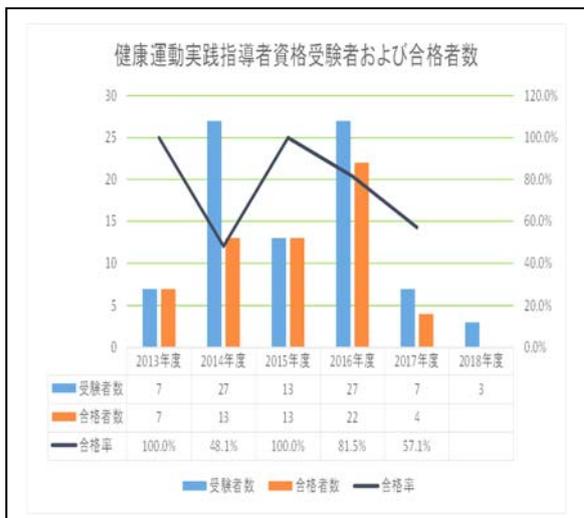


図3〔健康運動指導士資格〕

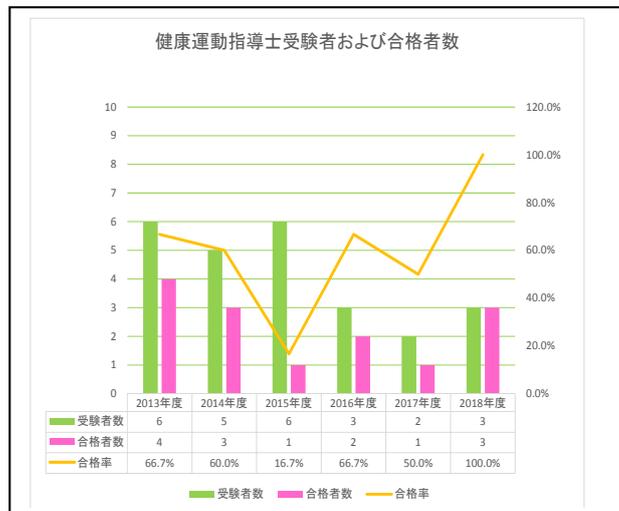


図4〔公認スポーツ指導者資格〕

図4-1<スポーツリーダー>

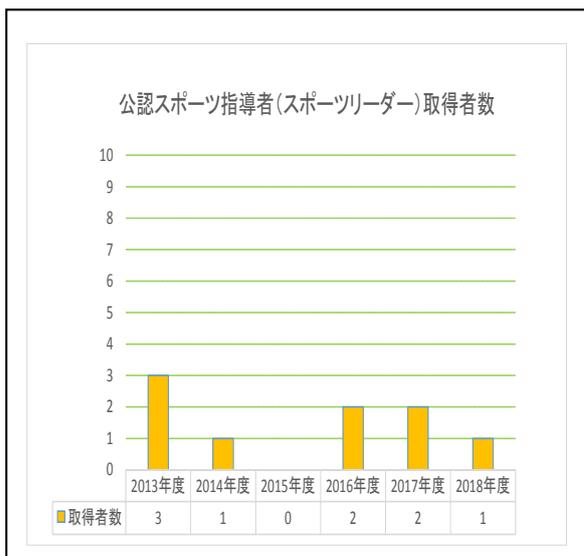


図4-2<共通I+II+III>

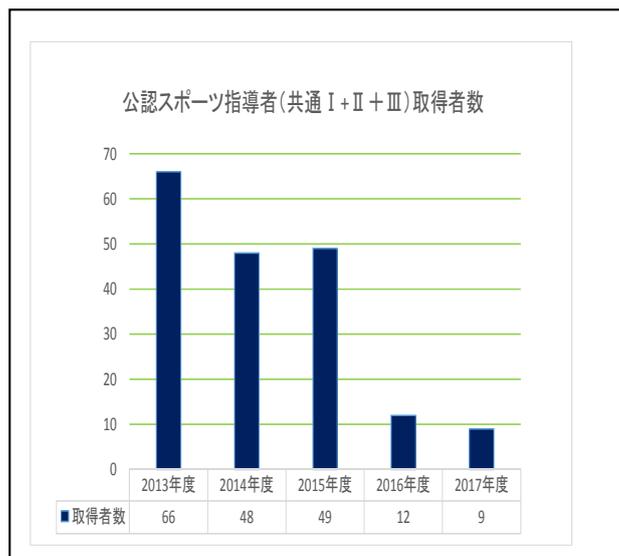


図5〔レクリエーション・インストラクター資格〕

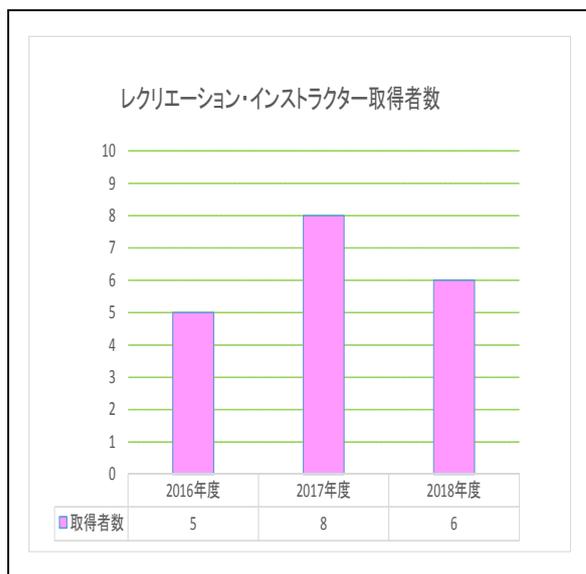
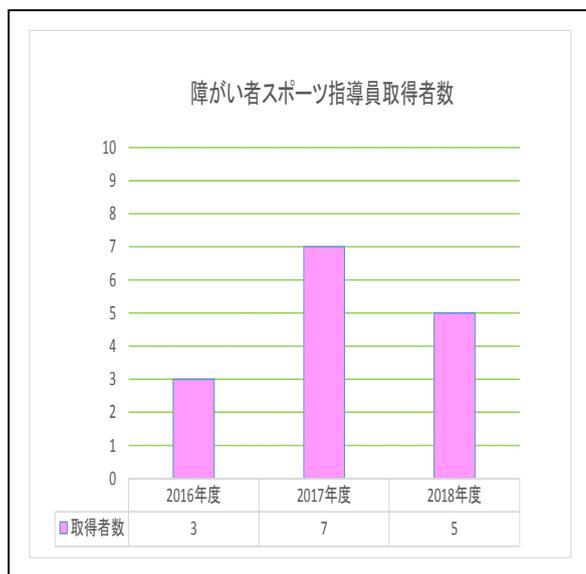


図6〔障がい者スポーツ指導員資格〕



また、体育会の各クラブが社会貢献活動として、さまざまなボランティア活動を実施していることをSAが中心となって調査を実施した。中でも2018年9月の台風21号の影響により、社会インフラに大きく被害をもたらしたが、学生アスリートが自主的に学内外の被害復旧に尽力したことは、身をもって学び、社会に出て実践することがKSAPプログラムの目的とするところであることから、まさに具現化してくれているものと考えます。

その他社会貢献活動等の内容は次のとおりである。

〔社会貢献活動一覧〕（2018年9月～2019年3月〈一部9月以前も含む〉）

クラブ名	活動概要	活動内容	活動日	場所
アーチェリー部	清掃活動	吹田市環境美化キャンペーン	11月15日	関大前
アメリカンフットボール部	清掃活動	地域美化推進活動”Clean Up Action”	12月16日	西宮北口
	スクール活動	体育授業支援活動(フラッグフットボール)	通年	池田市立呉服小学校
弓道部	清掃活動	吹田市環境美化キャンペーン	11月15日	関大前駅周辺
	清掃活動	大学周辺の清掃活動	毎日	千里山キャンパス
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
器械体操部	イベント活動	明日香村子どもスポーツ体験 in 関西大学	3月26日	千里山キャンパス
柔道部	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
	清掃活動	吹田市環境美化キャンペーン	11月15日	千里山キャンパス
古武道部	スクール活動	あなたのための護身術教室	11月25日	徳島県立男女共同参画交流センター
ゴルフ部	イベント活動	第73回国民体育大会プレー進行の補助	10月2日～10月6日	芦原ゴルフクラブ(福井)
サッカー部	清掃活動	台風21号後の学内外清掃活動	9月5日	千里山キャンパス
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
	スクール活動	サッカースクール	毎週日曜日	千里山キャンパス
自転車部	清掃活動	災害ボランティア(集中豪雨後)	9月7日	広島市内
	清掃活動	災害ボランティア(台風21号後)	9月11日	吹田市
	イベント活動	御堂筋サイクルピクニック運営補助	9月17日	大阪市中之島公園
	イベント活動	サイクルサッカーパフォーマンス	9月21日	神戸市福住小学校
準硬式野球部	清掃活動	吹田市環境美化キャンペーン	11月15日	関大前駅周辺
	イベント活動	大阪マラソンボランティア	11月25日	大阪市内
	清掃活動	朝清掃	毎週月曜日(4月～12月)	各キャンパス
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
水上競技部	イベント活動	大阪マラソンボランティア	11月25日	大阪市内
相撲部	スクール活動	堺市ボランティア活動	11月18日	堺市大浜公園相撲場
漕艇部	清掃活動	地域清掃活動	年4回	神崎川共同艇庫周辺
ソフトテニス部	スクール活動	枚方市倶楽部応援団参加、招提中女子ソフトテニス部の指導	11月17日	枚方市・招提北中学校
	スクール活動	2018年度ソフトボール交流会	12月16日	堺キャンパス

	スクール活動	第9回ソフトボール交流会	12月9日	金岡公園
	清掃活動	地域清掃活動	通年	堺キャンパス周辺
なぎなた部	イベント活動	第67回堺市立小学校連合運動会 会場 設営、競技進行の補助	10月11日	金岡公園陸上競技場
バスケットボール部(女子)	イベント活動	豊津中学校区クラブ1日体験入部	1月27日	千里山キャンパス
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
バレーボール部(男子)	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
バレーボール部(女子)	スクール活動	KAISERS カップ	1月13日	千里山キャンパス
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
ハンドボール部(男子)	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
ハンドボール部(女子)	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
ホッケー部	清掃活動	大和川大掃除	2月27日	大和川河川敷
野球部	清掃活動	大阪北部地震後の学内清掃活動	6月19日	千里山キャンパス
	清掃活動	台風6号後の凜風館付近の清掃	6月20日	千里山キャンパス
	スクール活動	中国人小学生を対象とした野球教室	8月12日	千里山キャンパス
	スクール活動	小学校野球教室	9月2日	吹田市・山手小学校
	清掃活動	台風21号後の学内外清掃活動	9月5日	千里山キャンパス
	スクール活動	豊津中学校野球教室	11月6日(以降 週1回開催)	吹田市・豊津中学校
	スクール活動	美原高校野球教室	11月17日・18 日	堺市・美原高校
	スクール活動	高校生対象の野球教室	通年	千里山キャンパス
	清掃活動	千里山キャンパス周辺清掃	通年	千里山キャンパス
陸上競技部	スクール活動	かけっこ教室	(8月13日、)9 月10日	千里山キャンパス
	イベント活動	障害者スポーツ/スポーツフェスタ2018 ボランティア	10月20日	ヤンマースタジアム長居
レスリング部	スクール活動	関西大学カイザーズクラブレスリングスク ール	通年(土曜日)	千里山キャンパス
AT ルーム学生トレーナ 一部	イベント活動	大阪マラソン給水ボランティア	11月25日	大阪市内
	清掃活動	大和川大掃除	2月17日	大和川河川敷
応援団バトン・チアリー ダー部	イベント活動	明日香村子どもスポーツ体験 in 関西大 学	3月26日	千里山キャンパス

以上

別紙① KSAP全体像のロードマップ

中間報告

完了報告

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
組織検討	◆保健体育主事→スポーツ振興主事 スポーツ振興主事規程	(あわせて学生センター規程の改正)	スポーツ局としての検討(学生センター規程との関係などの整理)			次年度から設置
修学支援	◆Portfolio開発 ◆ピア・サポートの検討 サッカー部の事例を体育会全体に広げる ①サッカー部の担当者から事例・体制を聞き取り調査する。 ②サッカー部の事例をドキュメント化する。 ③各クラブに主務会を通じて紹介する。	◆フォローアップ検討 ピア・サポートと掛け合わせて解決する。 (ただし、ピア・サポートは学内の他の教育推進部や学生センターのピアと異なる点に留意する)	④12月から実行できるようにする。(クラブの人数でスポーツ振興グループで調整する。)		モデル事業の拡充を行う	◆次年度の課題整理
キャリア形成支援	◆学生アスリート向け研修プログラム ○受講したかどうかの記録の管理方法の検討 現(ALL)SCオリエンテーション、栄養講習会、熱中症対策、応急処置講習会 現(1年)法令遵守、大学スポーツの意義と4年間の過ごし方 現(2年)キャリアデザイン(モチベーション低下の防止) 現(3年)企業人事担当者による就職活動アドバイス、体育会OB・OGによる就職活動アドバイス、ESアドバイス、模擬試験(3・4年)リーダーズキャンプ		◆小中学校支援事業 吹田市の公立小中学校での指導 カイザーズクラブが実施しているスクール事業との連携	◆女性アスリート支援 体育会OGによる社会人の立場から、学生時代に培うべき能力などの紹介。 ◆小中学校支援事業		次年度へ継続する事業 ◆次年度の課題整理 ◆地域連携 武雄市でのスポーツイベント
意欲向上支援	◆指導者育成プログラム計画策定 モチベーション、組織論(マズロー、ポーター) 二要因理論、期待理論、外部環境理論 ◆サーティファイト原案策定 成功体験の可視化プログラム(可視化:自己記録、表彰) 公的資格取得の検討 (AT・ジム関係から検討) バックアップ体制・教育指導の方法など					◆次年度の課題整理 ◆体育振興大島謙吉スポーツ文化・体育会覇業披露式 ○対象者の選定 ○校友会との副賞の調整 ○委員会の開催 ○式典

「KAISERS Talk」

～学生アスリートのメンタルサポート～

【目的】

- ・体育会学生が部活でより活躍できるようにするため
- ・就職活動が順調に進められるようにするため
- ・充実したキャンパスライフをおくれるようにするため

【内容】

- ・悩みの相談（部活のこと、私生活のこと）
- ・目標&目標達成に向けて、考えの整理と明確化
- ・将来（キャリア）について考える
- ・自己理解（自分の価値観、長所、短所、自分をいかすために）
- ・その他

【日程】

約2日/週（相談可能時間をスポーツ振興グループ前に表示）

【受付】

スポーツ振興グループ窓口（※事前予約も可）

【時間】

約1時間/1回

【時間帯】

10時～16時の間で4時間程度

【場所】

スポーツ振興グループ会議室

就職活動のために、
自己理解を深めたい。
職種をしばりたい。

目標を達成する
ための具体的案を
考えたい！

ちょっと悩みが
あるんだけど。

最近モチベーションが
上がらない。。

プロフィール

スポーツアドミニストレーター 岡田哲也

資格

キャリアコンサルタント

産業カウンセラー、心理カウンセラー

連絡先（予約、問合せ用）

E-mail : kaisers_talk@ml.kandai.jp



気軽に話しに
来て下さい

スポーツ庁 平成30年度「大学横断的かつ競技
横断的統括組織(日本版NCAA)創設事業」に
関する成果報告書(関西大学)

2019年3月29日 関西大学学生センター

スポーツ振興グループ 作成



関西大学体育会は、45 のスポーツ系クラブを有し約 2,500 名の学生が所属しており、“KAISERS”と総称されている。KAISERS(カイザーズ)とは、ドイツやロシアで用いられた皇帝の称号(KAISER:カイザー)を表したもので、皇帝が指揮官として戦いに赴く勇姿にスポーツマンシップを重ね合わせ、常に勝利・頂点を目指す姿勢を見習ってつけられたチームネームである。これは、全国の大学に先駆けた取り組みであり、ロゴガイドラインを定め、統一したロゴマーク及びスクールカラーを各種スポーツのユニフォームや応援旗などに使用し、練習・試合に臨んでいる。このような先進性・独自性のある取り組みにより、体育会全体の帰属意識を醸成し、高い組織力を保つことにつながっている。